

介護施設

の労働災害防止に向けて

兵庫SAFE協議会「介護施設」の取組

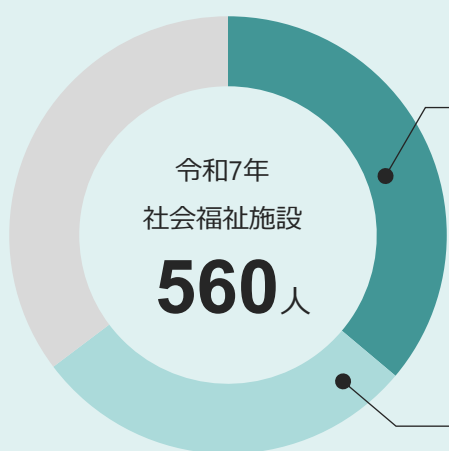


兵庫SAFE協議会「介護施設」について

兵庫SAFE協議会「介護施設」は、地域社会と一体となって介護施設の労働災害を防止するため、兵庫県内の介護施設の主要な法人・企業や、地方公共団体、関係団体等で構成し、運営しています。



兵庫県内の社会福祉施設における労働災害発生状況



データ：労働者死傷病報告による



転倒 33%



腰痛など 35%

全体の
68%

転倒予防対策・腰痛予防対策を徹底しましょう！！

転倒予防



Check！！

- ☒ 通路の水などの拭き取り
- ☒ 整理整頓の徹底
- ☒ 段差の解消・見える化



腰痛予防



Check！！

- ☒ ノーリフトケア
- ☒ 介護機器等の導入
- ☒ 作業姿勢の見直し



兵庫SAFE協議会構成員の取組事例



事例1 移乗設備の導入による腰への負担軽減

すべての利用者をトイレ移乗していたが、立位が取れない利用者を抱えることができる職員が限定され、介助ができないことが増えていた。

移乗設備を導入したことで2名体制で行っていたトイレ移乗が力のない1名の職員でも行えるようになり、さらに、介助時の腰への負担が軽減されるため安全に介助が行えるようになった。

事例2 入浴機器の導入による腰への負担軽減

コロナ禍での対応や人手不足などにより職員の業務負担が大きくなり、職員の業務の効率化・負担軽減を図る必要があった。

入浴機器を導入したことで1回の入浴あたり5分～10分の時間削減につながっただけでなく、洗身時のしゃがむ動作などが減ることで腰への負担が大きく軽減され、介助する職員の腰痛予防にもつながった。



事例3 移乗設備の導入による体の負担軽減

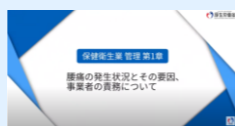
高齢の職員が多く、職員採用もなかなか難しい環境のため、現在の職員が長く働ける環境、効率のよい体制作りを行う必要があった。

移乗設備を導入したことで2名体制で行っていた移乗が1名で行えるだけでなく、介助する職員の体の負担の軽減や、技術不足をフォローすることが可能となった。

関連動画



職場における腰痛予防対策
(厚生労働省)



【社会福祉施設】 毎日3分でできる
転びにくい体をつくる職場エクササイズ
(厚生労働省)



ひょうご介護テクノロジー導入・生産性向上支援センターのご案内

介護サービスの質の向上・働きやすい職場づくりを支援するワンストップ窓口です。最先端の介護テクノロジー導入をはじめとした総合的な支援を行っています。お気軽にお問い合わせください。

【 お問い合わせ先 】

〒651-2181 神戸市西区曙町1070

兵庫県立福祉のまちづくり研究所 1階 福祉用具展示ホール内

<https://hyogo-kaigotech.jp/>

Mail: contact@hyogo-kaigotech.jp



お問い合わせ先

事務局：兵庫労働局 労働基準部 安全課

〒650-0044

兵庫県神戸市中央区東川崎町1丁目1番3号 神戸クリスタルタワー16階

TEL: 078-367-9152



第三次産業の労働災害
防止対策情報はこちら